

『デイサービス・体操はやっぱり大事！』

前回の会報で、足首回しやタオル体操をやって、効果が出ている事をお知らせしましたが、もう少しバリエーションを増やしたい、楽しくできるものをやりたい、ということで、歌に合わせて体を動かす体操を追加してみました。その名も…

「きよしのズンドコ節体操！」

フルコーラスで3番めまであるので、しっかりやると結構大変です。最初はどう動いていいのかわからない利用者さんも、今では歌を口ずさみながらやっている人もいます。

寒い冬に向けて、少しずつ慣らしていきたいです。



『寄ってっ亭の入り口に…』



ご近所の半田さんが、寄ってっ亭の玄関に素敵なすのこを作ってくれました！

入り口手前と、外側にも1枚！
ありがとうございます！



『看取り…最期の場所として』

10月13日Mさんから「母(Sさん89才)が入院していて、もう末期なんだけど、退院後の受け入れ先を探すと言われて…特養とか老人病院も今はコロナ対策でなかなか面会も出来ないし、おじいちゃんが毎日面会に行ける場所があればいいんだけど…自宅も考えたけど、お嫁さんの負担が大きすぎるし…」と、そんな相談を受けました。正直、そのとき私は(うちに来ればいいじゃん!)と思いましたが、まずは会長に相談しました。すると開口一番「うちに来ればいいじゃん!」と(笑)

特養待ちが多い中、うちのような小さな施設の部屋が空いたからと言ってすぐ次の方が現れる、とはならず、ひと月以上空いている部屋があったのです。

「切羽詰まって入所が必要だとなったとき、即入居出来るも出来ないも、全てタイミングよ」と会長がいつも言っている言葉を思い出しました。長い空き状態の部屋…もしかしたら今回この方を受け入れるための準備だったのかな?なんて思ったり。



そして話は入所の方向へ向かうのですが、まず、退院後の主治医をたんぽぽ診療所の遠藤先生にお願いし、ケアマネには訪問看護、介護ベッド、介護タクシー等の手配を迅速に動いて頂き、翌日にはいつでも受け入れ可能となりました。

相談を受けてから3日後、Sさんは退院しそのまま入所致しました。

死に向かっている体に点滴しても苦しいだけ、自分が食べたいと思う物なら口から食べて飲み込めるから、プリンでもアイスでも食べさせてあげればいい。点滴は遠藤先生も止めても良いじゃないかと診断して下さり外しました。

(以前このようにして余命幾ばくもないと言われた方が口から食べることによって回復し、デイサービスに1年半通い、大往生した例があります)

入所し夜も心配だからと、Mさんは同じ部屋で寝てくれました。傍らで寄り添うことでSさんは、言葉は出ないけど頷いたり笑顔を見せたり、ちゃんとわかっています。夕方には息子さんも来て「わかってくれたのが本当に良かった」と言って下さいました。Sさんの曾孫まで来てくれて、賑やかに過ごす時間を送りました。



入所して5日め、Sさんはおじいちゃんに手を握られながら静かに旅立たれました。

こちらへ入所してわずか6日間でしたがSさんと家族にとってはとても濃厚な時間となったと思います。この期間が病院だったらどうでしょう？延命治療で寿命が延びたかもしれない。でも、曾孫の笑い声も、おじいちゃんの手の中の温もりも感じることなく逝ってしまったかもしれない。このような看取りにより、残された家族、特におじいちゃんにとってこの時間はとても良いものになったと思います。

おじいちゃんは、入所の事前説明で会ったとき、気が張っていて厳しい顔の印象でしたが、入所後Sさんの手を取り話しかけていた時はなんと穏やかで優しい表情だったことか！

おじいちゃんの為にもSさんに入所してもらって本当に良かったと思いました。

(K. M)



『敬老会』

毎年9月になると外部から演芸披露してもらう人たちを呼んで、楽しく過ごしていましたが、今年はコロナウイルス感染予防のため、内々で小じんまりと開催しました。

でも、中身は濃いですよ！普段からレクリエーションでやっている“牛乳パックをどこまで高く積み上げられるかゲーム！”

（空のパックを輪切りにしたものを重ねていく。倒れてもぶつかっても怪我をしない！小さな子にもおすすめ！）



優勝者には豪華賞品も！

時間制限の中（15分間）で積み上げていくのですが、一番高かったのに途中で倒れてしまったり、ゆっくりだけど、慎重にやって最後には一位になったり・・・と予想外の結果でした。

え？景品は何だったかって？それは、今の時期とっても重宝するマスクでした!!



『こども^ちっ家』

平成30年8月にスタートした「こどもっ家」。活動も4年目を迎えました。

今年は新型コロナウイルス感染症の発生による緊急事態宣言の発令、小学校休校という非常事態の中、子ども達の食の確保のための“100円ランチ”を提供しました。

活動中止となった中、お昼の時間だけですが、子ども達の元気な顔を見て安心しました。

【第1期】 コロナ初期

泉の会の昼食を子ども達へ提供。見事に完食でした。



【第2期】 緊急事態宣言中

「えんぜる」さん（西高町）のパンを配達して頂きました。種類も豊富で美味しい！

2020年3月13日～5月10日。32日実施、119食を提供しました。「赤い羽根共同募金臨時休校支援」で助成して頂きました。

☆Instagram インスタグラムでも活動の様子載せてます☆

5 #こどもっ家

『優しい兄貴ボランティアの紹介』

現在「こどもっ家」でボランティアスタッフとして活躍している
〇さん（15才・中学3年生）をご紹介します。

「こどもっ家」に参加した
キッカケは、なんですか？

もともと小さい子のめんどうをみる
のが好きで、中学2年生の時に夏休み
ボランティア募集のパンフレットを見
て、こどもっ家の募集があり、家から
近くにあるし、やってみたいなと思っ
て参加しました。

「こどもっ家」はどんな所ですか？

みんな仲良く遊ぶこともできるし、初
めて来た子ともすぐに仲良くなって遊べ
るところ。仲間はずれもないし、いじめ
もなく接することもなく出来ているのが
良いところです。

これから「こどもっ家」をどんな場所に
したいですか？

みんなで仲良く遊べて、いじめもなく、
笑顔でたのしい時間を過ごせるところに
したいです。



蜂の巣を見つけて、怖くて動けなくなっ
た子をおぶってくれる大きな背中。そして、
力いっぱい遊んでくれるお兄さん。いつも、
ありがとう！



住所 〒424-0841 静岡市清水区追分 3-5-17
電話番号 054-367-2878
F A X 054-367-2884
ホームページ <https://www.npo-izuminokai.com/>

編集後記★
まだまだ先の見えないコロナ禍ですが、終息するまで
協力し合い、一緒に頑張っていきましょう

発行責任者 藤下 品子
三浦 香織